2017.12.16

おかやまいっぽん衆院選２０１７終了までの取り組み総括

▼目次

１、　参院選 2016 総括後の取り組み
２、　衆院選 2017 野党共闘の構築
３、　衆院選 2017 の取り組み（トピック）
４、　投票結果
５、　総括
６、　今後の取り組みについて

▼資料

資料１：参院選 2016 までの取り組み・総括・その後の取り組み
資料２：おかやまいっぽん　衆院選２０１７への取り組み記録
資料３：衆議院議員選挙小選挙区得票推移（2005－2017）

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求めるおかやまいっぽんの会
事務局：岡山市中区東山２－14－10　（有）D-mediaCreations 内
TEL:086-270-5305/FAX086-270-5306
http://okayama1pon.net/
links@okayama1pon.net

１、参院選 2016 総括後の取り組み（資料１）

1-1 参院選総括での課題と改善方針

　2016 年の参院選を終えての取り組み総括として以下の３つの課題と改善方針を立てその後の活動へ反映していきました。

・市民・政党・候補者が緊密につながり、互いに尊重し合う共闘体制が作れなかった
→思想や政策の違いを認めた上で棚上げし、共通政策でしっかりと手を結ぶ共闘体制へ
・市民がチカラを併せていくための受け皿とネットワークが小さく弱かった
→会員の拡大と既存団体との交流、運営体制の見直しや会報発行など基礎体力の強化
・岡山市での活動が中心となり県内全域への運動の広がりが作れなかった
→岡山県内へ広く運動を広げ、ともに活動する仲間を増やすこと

　さらに参院選の総括イベント（2016 年９月２７日）を開催し市民連合みえの岡歩美さんによる取り組み紹介と議論を通じて見えてきたことも踏まえて活動しました。
　特に、「市民のプライドを持ちストレートに投げかけ、候補者・選対にとことん密接に関わる。」「マスコミに目を向けさせ、有権者へのアピールにつなげることを意識してイベントを作る。」という２つの内容はその後の活動に影響を与えています。

1-2 市民・政党・候補者のコミュニケーション「つながり、広げる」接着剤・橋渡しの役割を縦横に

■軸になったのは政策づくり。全６回の政策会議と市民懇談会を実施して『市民による政策提案』をまとめ、野党４党と意見を交わす場を継続的に持ちました。政策が市民と野党を結ぶツールとなり、2016 年１２月４日のイベント『おかやまいっぽん、もういっぽん。衆院選はこうして手をつなぐ』で衆院選に向けてスタートを切りました。その後、さらに４回の政策会議を経てアップグレード版を作成し 2017 年６月１７日に立憲野党へ再度共有し継続的に議論をしました。

■2017 年１月から『おかやまいっぽんと野党４党による共同街宣』を開始しました。衆院選までに政党や市民団体と計４回の共同街頭宣伝を行い野党共闘をアピールしました。

■衆院選の選挙区を想定し活動の範囲を広げる取り組みをすすめました。2016 年１０月から岡山・津山・倉敷で計８回の市民懇談会を開催。津山・倉敷で世話人会を起ち上げ、それぞれ月１回ペースで世話人会議を実施しています。さらに『おかやまいっぽんカフェ』など独自イベントも取り組んみました。2017 年６月１７・１８日には、『おかやまいっぽん×山口二郎ツアー2017』で岡山・倉敷・津山でイベントを実施しました。３区と４区で拠点を築き、世話人とともに地元市民団体・地元労働組合へも訪問してコミュニケーションをとり衆院選に向けての体制づくりに取り組みました。３区の南部地域については、戦争させない・９条壊すな！総がかり行動あかいわ（+備前・和気

革新懇)、５区では戦争させない 1000 人委員会総社と懇談し、赤磐では協力に向けての足がかりがつくれましたが、総社は十分な関係がつくれないまま選挙となりました。

■2016 年１０月から機関誌『おかやまいっぽん＋』発行（隔月)、2017 年１月からおかやまいっぽんポスター第２弾『日常と政治シリーズ』の掲示、街頭トークイベント、おかやまいっぽんカフェなどに取り組みながら、１周年記念イベント『すべては日常の中に』（2017 年４月９日）でおかやまいっぽんが目指す政治文化のイメージ（市民がお互いを尊重し作りあげるボトムアップの政治）を共有し、「知って・理解して・参加する」という活動を広げ深めていく取り組みを行いました。

２，衆院選2017 野党共闘の構築（資料２）

2-1、森友・加計隠し解散と希望の党による立憲野党分断への対応

マスメディアが一斉に衆院解散を報じた９月１７日以降、おかやまいっぽんも、そこまでの活動をもとに衆院選に対応するべく動き始めていました。 最初に取り組んだのは、『市民による政策提案』を基にした市民と立憲野党4党による政策協定締結と岡山県内全5選挙区での統一候補の実現に向けたアクションです。９月２６日～２８日にかけて『第48回衆議院議員総選挙に向けた政策協定の締結と候補者一本化の呼びかけ』を実施していました。

まさにその最中、９月２８日に民進党が希望の党合流を決定しました。これは９月２０日の４野党の書記局長・幹事長会談での「衆院小選挙区総選挙での野党候補一本化を模索する」という合意、９月２６日の市民連合と４野党の「７項目の政策合意」を一方的にほごにする重大な背信行為でした。

これを受けて、９月２９日の第２４回おかやまいっぽん全体会議において急遽『民進党公認３候補に対する希望の党公認申請取りやめの要請』の作成と送付を決定し、同日深夜に高井崇志氏、津村啓介氏、柚木道義氏の３名宛に送付しました。高井氏、柚木氏とは懇談を行いましたが、高井氏のみが立憲民主党からの立候補となり、津村氏、柚木氏は希望の党からの立候補となりました。

2-2、市民と立憲野党の共闘の再構築

９月２７日から１０月６日までの間、岡山県内においてどういった形で、政策協定を結び、立憲野党の統一候補を作ることができるのかという模索が続いていました。民進党の希望の党合流決定当初は、野党共闘自体が成り立たなくなることも想定されていました。

実際に想定された最悪のシナリオとしては民進党公認候補だった３名が全員希望の党から立候補してしまうというものでした。この時、自由党も党として公認候補は出さず、それまで公認していた候補予定者も希望の党か無所属で立候補することを決めていました。

つまり、岡山県内の立憲野党としては日本共産党と社会民主党の２党となります。さらに岡山県内の全５選挙区で公認候補を持っているのは日本共産党のみとなり、そ

の場合、社会民主党は県内に候補者がいないため１対１で選挙応援をする形は取れないということで野党共闘の枠組みからは離脱の方向でした。結果的に岡山県内で野党共闘の枠組みに残る立憲政党は日本共産党の１政党となり、市民が野党を繋いで共闘するという構図が作れない状況になっていました。

しかし、１０月２日に枝野氏が立憲民主党の結党に向けた記者会見を行い、同日の深夜に岡山１区の高井崇志氏が立憲民主党からの出馬を表明したことにより、ようやく岡山県内で市民と立憲３党の枠組みへの再構築が可能な状況となりました。１０月３日には立憲民主党宛にも『第48回衆議院議員総選挙に向けた政策協定の締結と候補者一本化の呼びかけ』を実施しました。１０月５日には呼びかけに応えた立憲３党宛に、『第48回衆議院議員総選挙に向けた政策協定の提案』として政策協定内容を提案し、市民と立憲３党での政策協定と立憲野党統一候補擁立に向けて調整を進めました。

おかやまいっぽんとしては、野党共闘に参加する政党（岡山県組織）と各選挙区の立憲野党統一候補と共に同じ政策協定書にサインする形を理想としていました。しかし今回の衆院選では、各政党の状況もあり、最終的に１０月７日の調印式では、おかやまいっぽんが、立憲民主党・日本共産党・社会民主党のそれぞれの岡山県組織と１対１で、政策協定書にサインするブリッジ協定を結びました。これによって、岡山県１区に限らず岡山県レベルでの市民と立憲野党の共闘が実質的に成立しました。また、今回は各候補者個人との政策協定が結べなかったため、緊急に開催した第２５回おかやまいっぽん全体会議にて、おかやまいっぽんと政策協定をした政党の公認候補である岡山1区・高井たかし氏（立憲民主党）、岡山2区・垣内京美氏（日本共産党）、岡山3区・尾崎ひろ子氏（日本共産党）、岡山4区・平林あきなり氏（日本共産党）、岡山5区・みいみ芳明氏（日本共産党）を立憲野党統一候補とするという確認を行い、岡山における衆院選での野党共闘がスタートしました。

３、衆院選 2017 の取り組み（トピック）（資料２）

■１０月７日：おかやまいっぽんと立憲野党（日本共産党・社会民主党・立憲民主党）との政策協定調印式

岡山駅西口で日本共産党の街頭演説に参加し、穀田国対委員長、植本岡山県委員長、立憲民主党高井崇志氏、社会民主党宮田好夫岡山県連合代表と共に共同代表の宮本龍門が調印を報告しました。

第 48 回衆議院議員総選挙岡山県選挙区

政 策 協 定 書

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求めるおかやまいっぽんの会（略称：おかやまいっぽん）は日本共産党、社会民主党、立憲民主党の立憲 3 党それぞれと、第 48 回衆議院議員総選挙に向けて、これまでおかやまいっぽんが提唱してきた『市民による政策提案』を基に、下記 7 項目の政策課題について合意しました。ついては、同選挙岡山県選挙区において、一人ひとりの「いのち」を守る政治、憲法を守る政治を実現するため、市民と立憲野党の共闘に協力し、推進します。

1　憲法違反の安保法制を上書きする形で、安倍政権がさらに進めようとしている憲法改正とりわけ第９条改正への反対。
2　特定秘密保護法、安保法制、共謀罪法など安倍政権が行った立憲主義に反する諸法律の白紙撤回。
3　福島第一原発事故の検証のないままの原発再稼働を認めず、新しい日本のエネルギー政策の確立と地域社会再生により、原発ゼロ実現を目指すこと。
4　森友学園・加計学園及び南スーダン日報隠蔽の疑惑を徹底究明し、透明性が高く公平な行政を確立すること。
5　この国のすべての子ども、若者が、健やかに育ち、学び、働くことを可能にするための保育、教育、雇用に関する政策を飛躍的に拡充すること。
6　雇用の不安定化と過密労働を促す『働き方改革』に反対し、8 時間働けば暮らせる働くルールを実現し、生活を底上げする経済、社会保障政策を確立すること。
7　ＬＧＢＴに対する差別解消施策をはじめ、女性に対する雇用差別や賃金格差を撤廃し、選択的夫婦別姓や議員男女同数化を実現すること。

2017 年 10 月 7 日
安保法制の廃止と立憲主義の回復を求めるおかやまいっぽんの会

■１０月７日～９日：おかやまいっぽんポスター第３弾
『野党共闘（オセロモチーフ）』の掲示
立憲野党統一候補の誕生に合わせて、ポスター第３弾の掲示を実施しました。公職選挙法上、新規掲示は公示前までしか行えないため短い期間の中で、会員や世話人会、立憲野党や関係団体へ掲示の依頼を行い実施していただきました。

■１０月１０日：衆院選公示

岡山県内５選挙区の立憲野党統一候補出発式で１区は共同代表の宮本龍門、２区は共同代表の榊原精、３区は津山世話人会の田口龍雄、４区は倉敷世話人会の宇野忠義、５区は事務局の菅木智子が応援の挨拶を行いました。

■１０月１２～２１日：10・22 VOTE TOGETHER スタンディング

市民と立憲野党が統一のプラカードを使って投票を呼びかけるスタンディングに岡山県内各地で取り組みました。人通りの多い場所を選び平日は朝の通勤時間帯、週末はイオン岡山地下通路などで実施しました。

■１０月１３日：おかやまいっぽん街頭トークイベント vol.3

高井たかし候補の街頭演説として、市民連合・山口二郎氏が緊急来岡し岡山駅西口でのトークイベントを行いました。その後の高井たかし候補の街頭演説会へ、立憲３野党・みどり岡山・新社会党と共に宮本龍門が応援弁士として参加しました。

■１０月１４日：ビックカメラ岡山駅前店前での小池晃書記局長来岡しての日本共産党街頭演説に大平よしのぶ候補、垣内京美候補、高井たかし候補と共に宮本龍門が応援弁士として参加しました。

■１０月１５日：高井たかし総決起集会（岡山ロイヤルホテル）に立憲野党・みどり岡山・新社会党と共に宮本龍門が応援弁士として参加しました。

■１０月１９日：志位和夫委員長が来岡しての日本共産党街頭演説会へ立憲野党統一候補と共に、宮本龍門も応援演説に参加。街頭演説でのバルーンの装飾を担当しました。

■１０月２１日：高井たかし候補の表町商店街パレードで演出を担当。政党・市民団体・一般の方を合わせ約 300 人が参加しました。

■１０月２１日：立憲野党統一候補５選挙区のマイク納めに参加しました。

■選挙期間中に独自のネット選挙による広報活動を実施

Web サイト・facebook・twitter・Youtube を使い、テキストに加え写真や動画を使い、演説会などのイベントやスタンディングの告知と報告、各選挙事務所での電話かけや選挙ハガキなどボランティアを呼びかけました。候補者のスポット演説情報を知らせることで、候補者の政策を聞き支持を広げ、演説の場面を盛り上げる取り組みとして参加を呼びかけました。

■全選挙区で統一的に、各立憲野党統一候補へ出発式・マイク納めへの参加や選挙ハガキへの協力を行いました。各選挙区の取り組みとしては、野党共闘の象徴的な形となった１区では、宮本共同代表を始め事務局スタッフが１区・高井たかし事務所に通って高原俊彦選対事務局長や岡山駅で夜立ちする高井候補とコミュニケーションをとり、スポット演説の重点箇所やイベント内容についての提案やすり合わせを行いました。選挙事務所での電話かけなどのボランティアにも参加しました。おかやまいっぽん津山（３区）・倉敷（４区）の世話人会では初めての選挙に取り組みました。『10・22 VOTE TOGETHER スタンディング』の実施、３区・尾崎候補（日本共産党）の選挙カーに乗車しての応援演説や独自の選挙ハガキ強力などのボランティアを行いました。一方で２・５区はおかやまいっぽんとしての個別の取り組みはほとんど行えませんでした。岡山県内５選挙区とも全力での応援を確認していたにもかかわらず、実際の活動には濃淡がでてしまいました。

４、　投票結果（資料３）

- 全国的な結果を見ると自民党は無所属３人を追加公認して改選前の２８４議席を確保、公明党は改選前から６議席減の２９議席で、引き続き合計で３分の２（３１０議席）を超えました。補完勢力の希望の党と維新の会は７１議席から６１議席に後退しました。日本共産党は２１議席から１２議席に後退しましたが、立憲民主党、社会民主党の立憲３野党は３８議席から６９議席に躍進し、立憲民主党が野党第一党となりました。
- 岡山県の結果については、小選挙区で、自民が５議席を独占しました。１区の立憲

民主党の高井候補、２区、４区の希望の党津村候補、柚木候補は比例で復活当選しました。

- 立憲野党統一候補の得票として、１区の立憲民主党の高井候補は得票を増やしました。３区の日本共産党・尾崎候補、５区の日本共産党・みいみ候補は過去の日本共産党候補（他にも野党候補がいる選挙）と比べて得票を増やしました。２区・日本共産党の垣内候補、４区・日本共産党の平林候補は、残念ながら得票数として顕著な増加はみられませんでした。しかし、希望の党の２区津村候補、４区柚木候補はともに得票減となっています。また、自民党の逢沢（１区）、加藤（５区）は得票を減らし、自民５候補の合計得票は前回より減っています。
- 共闘効果という点では､岡山１区は高井候補が､立憲野党３党の比例票合計48,123票の 118%を得票しました。２・３・４・５区の統一候補となった日本共産党候補は立憲３党の比例票合計を上回ることはできませんでした。３区では自民系２候補が競り合う中、希望の党と立憲野党統一候補の尾崎候補の４名の激戦となりましたが、尾崎候補が比例の共産党票の１４９％を獲得し、得票率も１０％を上回る健闘をしました。
- ＮＨＫの世論調査を参考にすると、自民党支持者の６～２０％、公明党支持者の１２～２７％が他党の候補者に投票しています。そこには、安倍自公政権の暴走に対する危惧が現れているとみることもできます。

５、総括

衆院選2017では、選挙情勢の急変のなか、津村氏、柚木氏が希望の党から立候補しました。これにより、おかやまいっぽんとしては、２区・４区においての立憲野党の枠組の分裂を防ぐことが出来ませんでした。これまでの取り組みの中で有権者への呼びかけと政党との信頼を積み重ねて来ましたが、おかやまいっぽんの力が、まだまだ弱いということを改めて受け止めています。一方で、市民と立憲野党の共闘の再構築に全力を挙げた結果、『市民による政策提案』の共通認識を土台に、７項目の政策でおかやまいっぽんが、立憲民主党・日本共産党・社会民主党と政策協定を結び、「市民と立憲野党の共闘」による５つの小選挙区で統一候補を実現してたたかうことができました。

衆院選2017を終えて、総括を行うために、共に取り組んだ市民や団体・政党との懇談、ヒアリングを重ね、多くの意見をいただき議論をしました。これを踏まえた上で２つの角度から、おかやまいっぽんの衆院選2017への取り組みについて総括をしました。

A) 『市民による政策提案』「７項目の政策合意」の実現という角度から

小池百合子が立ち上げた希望の党の政治的立場が安保法制の容認と９条を含む憲法改定であることが明らかになり、この流れがそのまま進めば、改憲の補完勢力による保守２大政党づくりが成功し、安倍政権のもとでの改憲に突き進む重大な事態となるところでした。そして、おかやまいっぽん設立趣意書以来、一貫しているわたしたちの活動目的（政策）「安保法制の廃止と集団的自衛権行使を認める閣議決定の撤回」の実現の道が閉ざされるところでした。

２区・津村氏、４区・柚木氏は希望の党に合流して「市民と立憲野党の共闘」の分断に加担しましたが、１区・高井氏は踏みとどまり「立憲民主党」からの立候補を表明しました。「市民と立憲野党の共闘」の再構築に加わり、１区の立憲野党統一候補として、小選挙区では当選できませんでしたが、比例で復活当選しました。

全国で「７項目の政策合意」をした立憲民主党、日本共産党、社会民主党の立憲３野党が議席を伸ばし３８議席から６９議席に躍進し、立憲民主党が野党第一党となったことは、重要な成果です。

この岡山でも、自公とその補完勢力がすべての議席を占める事態を阻止することがでました。そして、７項目の政策協定を公約とした衆議院議員を確保できたことは大きな成果です。これを確信にして、この議席を「政策協定」の実現の力とする取り組みが重要で、それは、「おかやまいっぽん」のあらたな課題となりました。

B)　「市民と立憲野党の共闘」の力で選挙勝利するという角度から

・全国的な取り組みと結果への総括

今回の自民党の獲得議席は、希望の党による野党共闘の分断、小選挙区制度、争点逸らしによるもので、政権の基盤が強まったとは言えません。むしろ、憲法９上改憲に危機感を持つ支持者離れによる公明党の議席減で、今後の政権運営は不安定になって行くだろうと考えます。また、市民と立憲野党の共闘再構築により、希望の党の「市民と立憲野党の共闘」の破壊と日本共産党排除は失敗に終わりました。同時に安保法制容認と改憲をめざす「保守２大政党」づくりも失敗に終わりました。

一方で、民進党の希望の党合流決定により持ち込まれた分断で、リベラル側の票を持っている民進党と連合の対応が選挙区ごとで分かれました。時間もない中で、リベラル層の有権者を含めて再構築した市民と立憲野党の共闘と立憲野党統一候補の浸透が十分に出来ないまま選挙を終えました。

「７項目の政策合意」に基づく「市民と立憲野党の共闘」による選挙勝利の実績、立憲野党の議席増、立憲民主党が野党第１党となったことで、「市民と立憲野党の共闘」が新しい力を蓄積して、立憲政治の回復への確かな足場を築きました。

・岡山県での取り組みと結果への総括

おかやまいっぽんは、参議院選挙とその後の「市民と立憲野党の共闘」の積み重ねの上に立憲野党統一候補の実現で小選挙区を含めて選挙勝利をめざしました。しかし、総選挙直前の希望の党の設立と民進党の合流という激変で、きわめて困難な選挙情勢のもとでの闘いを余儀なくされました。

結果として、小選挙区ではいずれも当選できず自民党の独占を許しました。比例選挙でも、日本共産党、社会民主党は得票を減らし、日本共産党は中国ブロックでも議席を失ってしまう結果となりました。

おかやまいっぽんは、市民と立憲野党の共闘を分断されたことに対して、「共闘」の再構築に全力をあげ、ギリギリのところで立憲３野党との政策協定を実現し、５選挙区で市民と立憲野党の共闘で統一候補を実現し、たたかうことができました。

選挙期間中にも「市民と立憲野党の共闘」の輪が広がり（新社会党、みどり岡山、戦争させない・９条壊すな！総がかり行動あかいわ、など）相互の信頼関係も強まりました。

その成果として「市民と立憲野党の共闘」をすすめる議員を立憲民主党の高井候補が比例で復活当選しました。「勝利した」とは言えない悔しい結果ですが、一連の取り組みは次につながる財産となり、得られた議席は次の選挙で勝利の足場を築くための重要な成果です。

選挙期間中の動きとして、岡山１区では、合同選対の立ち上げや候補者選対への参加はできなかったものの、日程が進むに連れて高井候補本人や選対との協議がすすみ、工夫して共同行動も重ねながら信頼関係を作ることが出来ました。３区では、おかやまいっぽん津山の世話人や戦争させない・９条壊すな！総がかり行動あかいわなどが候補者と共に行動して支持を訴えました。２区、４区、５区は第一声とマイク納めに参加し、おかやまいっぽんの共同代表・事務局・世話人が立憲野党統一候補への支援を訴え、市民と立憲野党の統一候補が全県で活動したことは、次のたたかいに繋がるものです。

６、今後の取り組みについて

6-1、これまでの取り組みの継続と改善

・『市民による政策提案』の発展

市民の目指す政策について常に議論し、時々の社会状況や政治情勢を踏まえて『市民による政策提案』を発展させます。そして立憲野党と共有をしながら、次の参院選・衆院選に向けた共通政策への議論を進めていきます。

・『おかやまいっぽんカフェ』の開催

岡山県内の地域、市民団体、労働組合、学生グループなど様々な場所で、気軽に、日常と政治を語り合える場を作り、おかやまいっぽんを「知って・理解して・参加する」という輪を広げていきます。

・目的や対象に合わせた情報共有と広報活動

機関紙『おかやまいっぽん＋』やメーリングリストを通して、会員や関係団体に向けて活動状況を共有し、ポスター・チラシ・インターネットを通して、野党共闘に期待する人に向けておかやまいっぽんへの認知を広げるなど、目的や対象に合わせた情報共有と広報活動を行います。

・街の雰囲気になじむ街頭宣伝

街を行き交う人の気持ちに寄り添い、違和感ではなく興味を持ってもらえるような街頭宣伝『おかやまいっぽん街頭トークイベント』や、人が集い賑わいのある雰囲気で市民と立憲野党の重要性をアピールする『おかやまいっぽんと立憲野党共同街宣』を実施する。

・運営スタッフの増員と活動費の確保

会員数や活動地域が拡大する一方で、全体会議への参加者、事務局や政策・広報・イベントの担当班のスタッフは減少傾向です。同時にポスターやチラシの制作・広報、イベントの実施などの活動費も十分に確保できていません。活動を維持・発展させていくために、新たに運営参加する人材の確保と活動費（カンパ）の確保が急務です。

６－２、憲法改正の国民投票・衆院選との同時選挙も想定した参院選２０１９に向けての新たな取組

・立憲野党・市民団体・労働組合とのより強い連携

共通の課題解決のため運動に取り組んでいる様々な団体との懇談を継続しながら、共同での運動の場へ参加し、一緒に作っていくことで運動を広げていきます。
・国会活動と市民活動の連携
衆院選２０１７に置いて、おかやまいっぽんとの７項目の政策協定を基に当選した高井崇志衆議院議員の国会活動の共有と意見交換の場を作り、市民と国会活動をつなぎ反映する循環を継続しながら、連携した運動をしていく。
・安倍政権による改憲を阻止する活動
引き続き自公連立政権が衆参両院で３分の２を超える議席を持つなかで、違憲である安保法制と集団的自衛権行使を認める閣議決定を追認する憲法９条の改正、政権への全権委任とも言える緊急事態条項など、安倍内閣が突き進める憲法改正の「改憲発議」をさせないための民意の形成が必要です。「安倍９条改憲ＮＯ！憲法を生かす全国統一署名」に取り組み 3,000 万人の署名を実現すると同時に、おかやまいっぽんの活動の広がりへ繋げます。
・市民と立憲野党が一緒に勝つための立憲野党統一候補実現に向けて
依然不安定な政局の中で、市民と立憲野党が一緒に本気を出せる態勢を作ります。そのために『市民による政策提案』から一緒に政策協定を作り上げ、争点を明確にし、それを基にした「市民と立憲野党の統一候補」の実現を目指す議論と取り組みを進めます。

資料１：参院選 2016 までの取り組み・総括・その後の取り組み

これまでの [おかやまいっぽん] と、これからの [おかやまいっぽん]

おかやまいっぽんが目指すこと

わたしたちは、一人ひとりの「いのち」が守られる政治、憲法を守る政治が実現することを目指しています。そして、その実現のために、

１ 集団的自衛権行使を容認する閣議決定の撤回

２ ２０１５年９月に「成立」した安保法制の廃止

を目的として活動をしています。

目的達成の条件＝２項目に同意する政党と政治家が国会で多数となり政権を運営すること
目的達成のポイント＝達成に向けて市民一人ひとりが考えて行動すること
多様性を認識した上で、否定ではなく尊重して議論を重ねていくこと

おかやまいっぽんの一歩　始まりから 2016 年、参院選まで

2015 年 11 月 13 日：「2016 参院選勉強会」（ハシワタシ）
2015 年 11 月 28 日：「オールジャパン」実現のためのシンポジウム（岡山市９条の会連絡会）
2015 年 12 月 12 日：「野党協力を応援します」（旧おかやまいっぽん）
2016 年 1 月 14 日～2 月 28 日：全６回の市民懇談会を実施
2016 年 2 月 28 日：安保法制の廃止と立憲主義の回復を求めるおかやまいっぽんの会 設立
以降、事務局・各担当班の会議と月 1－2 回ペースでの全体会議により運営
2016 年 3 月 7 日：設立記者会見
2016 年 3 月 8 日：「おかやまいっぽん＃激おこ！参院選勉強会」
2016 年 3 月 9 日・13 日：野党４党＋2 候補者への提案とお願い
2016 年 4 月 21 日：おかやまいっぽん・野党３党による政策協定調印式＝参院選野党統一候補誕生
2016 年 5 月 12 日：岡山県選挙管理委員会へ政治団体登録
2016 年 5 月 13 日：おかやまいっぽんポスター掲示開始
2016 年 6 月 18 日：参院選直前イベント「おかやまいっぽんボクらのチカラをひとつに。」
2016 年 6 月 22 日：第 24 回参議院議員通常選挙　公示
参議院選挙期間中はインターネット選挙を展開、共同代表が野党統一候補の街頭演説などに参加
2016 年 7 月 10 日：第 24 回参議院議員通常選挙　投開票　岡山選挙区は自民党候補が勝利

おかやまいっぽん、もういっぽん！　参院選の総括と衆院選に向けての活動

参院選までの活動の総括

成果

市民の呼びかけによる野党と候補者の政策協定の実施と野党統一候補の誕生
政策協定を基にした市民と野党の共闘した選挙
岡山選挙区の野党共闘率 136%（参院選３２の１人区中６位）

課題と改善方針

市民・政党・候補者が緊密につながり、互いに尊重し合う共闘体制が作れなかった
→思想や政策の違いを認めた上で棚上げし、共通政策でしっかりと手を結ぶ共闘体制へ
市民がチカラを併せていくための受け皿とネットワークが小さく弱かった
→会員の拡大と既存団体との交流、運営体制の見直しや会報発行など基礎体力の強化
岡山市での活動が中心となり県内全域への運動の広がりが作れなかった
→岡山県内へ広く運動を広げ、ともに活動する仲間を増やすこと

総括後の主な活動

2016 年 9 月 27 日：総括イベント「おかやまいっぽんの一歩、さらに前へ」
ゲスト＝岡 歩美（市民連合みえ、元 SEALDs TOKAI）
2016 年 10 月～: 機関誌「おかやまいっぽん＋」発行開始（隔月発行）
2016 年 10 月 15 日～11 月 26 日：全 6 回のおかやまいっぽん政策会議を開催
2016 年 10 月 29 日～: 地元団体ご協力の基、岡山・倉敷・津山での計８回の市民懇談会の実施
2016 年 11 月 27 日：市民による政策提案（Rev.1）完成
2016 年 12 月 4 日：「おかやまいっぽん、もういっぽん。衆院選はこうして手をつなぐ」
2017 年 1 月 1 日：おかやまいっぽんポスター　第２シリーズ掲示開始
2017 年 1 月 15 日：おかやまいっぽん街頭宣伝
2017 年 1 月 28 日：おかやまいっぽんと野党 4 党の共同街頭宣伝（継続実施）
2017 年 3 月 26 日：第 1 回いっぽんカフェ (内部向けパイロット版)
2017 年 4 月 9 日：おかやまいっぽん 1 周年記念イベント「すべては日常の中に！」
2017 年 5 月 20 日：おかやまいっぽん街頭トークイベント vol.1 ゲスト小畑隆資（継続実施）
2017 年 6 月 17・18 日：おかやまいっぽん × 山口二郎ツアー 2017（岡山・倉敷・津山）

あなたも一緒に、おかやまいっぽん！

おかやまいっぽんは、会の名前であると同時に新しい政治を求める合言葉です。ぜひ活動の輪に加わってください。同時に活動を支えるスタッフや資金も不足しています。ご協力をお願いします。

1，おかやまいっぽんの活動にご注目ください。
Web・facebook・twitter で「おかやまいっぽん」と検索！ SNS 等での拡散もご協力ください。

2，おかやまいっぽんにご賛同いただき、会員・サポーターになってください。
会費・カンパで活動を支えてください。

3，おかやまいっぽんポスターの掲示にご協力ください。1 枚 200 円、3 種セット 500 円

4，おかやまいっぽんの運営に参加しませんか？
事務局・企画・広報・政策の担当ごとに運営をしています。ぜひご参加ください。

詳しくは事務局へお問合せください。

【おかやまいっぽん事務局】E-Mail：links@okayama1pon.net
TEL：086-270-5305 ／ FAX：086-270-5306 ／ 岡山市中区東山 2-14-10

資料2：おかやまいっぽん
衆院選2017取り組み記録

1，衆院選の経過

■2017衆院選経過概要
9月17日：マスコミ各社が衆院解散を報道
9月25日：小池百合子「希望の党」結党発表記者会見、安倍首相衆院解散記者会見
9月28日：衆院解散、民進党両院総会にて希望の党合流を決定
9月29日：小池百合子記者会見にて「排除」発言
10月2日：枝野幸男「立憲民主党」結党発表記者会見
10月10日：衆院選公示
10月22日：衆院選投開票

■おかやまいっぽんの取り組み
・第48回衆議院議員総選挙に向けた政策協定の締結と候補者一本化の呼びかけ
社会民主党＝9月26日13:30-
日本共産党＝9月27日10:30-
民進党＝9月27日12:30-
自由党＝9月28日13:00-

・事務局会議
日時：9月22日14:00-
会場：長泉寺

・倉敷　市民団体・労働組合訪問
日時：9月27日（水）午後

・第24回おかやまいっぽん全体会議（緊急）
日時：9月29日（金）13:30-
会場：長泉寺

・民進党公認3候補に対する希望の党公認申請取りやめの要請（各事務所宛にFAX送付）
日時：9月29日（金）深夜

・高井崇志氏懇談
日時：9月30日（土）17:00-18:00
会場：長泉寺

・津山：『知ってる？あぶない！「安全保障法」議員＆OBの会」共同街宣
日時：9月30日（土）～10月6日（金）

・事務局会議
日時：10月1日17:00-18:00
会場：長泉寺

・柚木道義氏懇談
日時：10月1日（日）19:00-19:45
会場：ロイヤルホスト倉敷店

・おかやまいっぽんカフェin鏡野
日時：10月2日　11:30-14:00
会場：そば処秀峰（鏡野町女原63-5）
参加費：1,000円（そば・飲み物付き）

・第48回衆議院議員総選挙に向けた政策協定の締結と候補者一本化の呼びかけ
立憲民主党宛
日時：10月3日　13:30-14:00
会場：長泉寺

・第48回衆議院議員総選挙に向けた政策協定の提案
社会民主党岡山県連合　10月5日（木）9：00～
日本共産党岡山県委員会　10月5日（木）10：30～
立憲民主党　10月5日（木）15：00～

・戦争させない・９条壊すな！総がかり行動あかいわ・合同会議
日時：10月5日（木）19:00-
会場：桜ヶ丘いきいき交流センター

・第1回おかやまいっぽん選挙対策会議
日時：10月6日13:00-15:00
会場：長泉寺

・おかやまいっぽん・立憲野党3党政策協定調印式
日時：10月7日（土）10:00-10:45
会場：ターミナルスクエアビル

・日本共産党主催「市民と野党の合同街宣」
日時：10月7日（土）11:00-12:00
場所：岡山駅西口

・おかやまいっぽん倉敷世話人会
日時：10月7日（土）14:30-16:30
会場：一心念誦堂（倉敷市西坂1582-1）

・おかやまいっぽんポスター第三弾
「野党共闘（オセロモチーフ）」ポスター掲示開始
日時：10月7日（土）～9日（月）
※岡山・倉敷・津山など県内各地

・おかやまいっぽんカフェin赤磐
日時：10月8日（日）13:30-
会場：桜ヶ丘いきいき交流センター

・第25回おかやまいっぽん全体会議（緊急）
日時：10月9日（金）13:00-
会場：長泉寺

・市民と立憲野党統一候補　第一声
日時：10月10日（火）
場所：1―5区各候補
※応援弁士として挨拶

・第2回おかやまいっぽん選挙対策会議
日時：10月11日（水）16：00～18：00
会場：長泉寺

・10・22 VOTE TOGETHER　スタンディング
日時：10月12日（木）～21日（土）
場所：岡山、赤磐、倉敷、津山で実施

・おかやまいっぽん街頭トークイベントvol.3
日時：10月13日（金）12:00-12:40
場所：岡山駅東西連絡通路（さんすて西館前）
ゲスト：山口二郎

・高井たかし衆議院議員候補と立憲野党共同街宣
日時：10月13日（金）12:45-13:30
場所：ANAクラウンプラザホテル岡山前（岡山駅西口）
・日本共産党　小池晃　書記局長街頭演説
日時：10月14日（土）17:10-
場所：ビックカメラ岡山駅前店前
※応援演説：宮本龍門

・高井たかし総決起集会　おかやまいっぽん×立憲野党
日時：10月15日（日）14:30-15:30
会場：岡山ロイヤルホテル光楽の間

・第2回おかやまいっぽん選挙対策会議
日時：10月17日（火）18：00～20：00
会場：長泉寺

・日本共産党　志位和夫　委員長街頭演説
日時：10月19日（木）14:20-
場所：ANAクラウンプラザホテル岡山前（岡山駅西口）
※応援演説：宮本龍門、街頭演説装飾協力

・10・21パレード　野党統一候補　高井たかしをみんなで応援しよう！
日時：10月21日12:30
場所：表町および天満屋アリスの広場前
※高井たかし候補表町パレード＆街頭演説に約300人が参加

・立憲3党統一候補マイク納め
日時：10月21日
場所：1―5区各候補

■衆院選後の共有・ヒアリング
・立憲民主党　高井崇志
日時：10月29日（日）10：00

・高井崇志選対事務局長　高原俊彦
日時：11月2日（木）10：30

・おかやまいっぽん津山世話人会
日時：11月2日（木）18:00

・戦争させない1000人委員会総社
日時：11月5日（日）14:00
※定例会議へ参加して意見交換

・吉備中央町9条の会
日時：11月5日（日）14:00-
※憲法学習会での講演と意見交換

・岡山県労会議
日時：11月6日（月）13:30-

・みどり岡山
日時：11月6日（月）15:00-

・新社会党岡山県本部
日時：11月7日（火）15:00

・平和センター
日時：11月8日（水）10:00-

・おかやまいっぽん倉敷世話人会
日時：11月11日（土）18:00-

・共産党岡山県委員会
日時：11月15日（水）13:30-
（10月23日に宮本訪問）

・社民党岡山県連合
日時：11月15日（水）15:30-
（10月23日に宮本訪問）

・戦争させない・９条壊すな！総がかり行動あかいわ
日時：11月16日（木）19:30～

・第５回　市民連合全国意見交換会
日時：11月25日（土）13:00～
場所：全日通霞ヶ関ビルディング　8F　大会議室

資料３：衆議院議員選挙小選挙区得票推移（2005－2017）

当選　　比例復活

1区

	政党	候補者												投票者数	投票率
	票数	得票率													
2017	自民	逢沢	希望	蜂谷	立憲	高井								168651	46.38
	87272	52.7	21551	13	56757	34.3									
2014	自民	逢沢			維新	高井	共産	向谷						165924	47.19
	90059	55.8			56135	34.8	15105	9.4							
2012	自民	逢沢	みんな		民主	高井	共産	垣内			幸福			184131	52.77
	100960	56.3	24370	13.6	41258	23	10291	5.7			2480	1.4			
2009	自民	逢沢			民主	高井	共産	東			幸福			231577	67.19
	110345	48.3			106269	46.5	9877	4.3			2003	0.9			
2005	自民	逢沢			民主	菅	共産	植本	社民	福島				214517	63.36
	127294	60.8			61357	29.3	12068	5.8	8590	4.1					

1区	逢沢	蜂谷	高井	支持率
自民	80	10	10	45
希望	6	74	20	6
公明	75	8	17	5
共産	3	20	77	3
立憲	0	3	97	9
維新	25	20	55	2
無党派	40	15	45	30
出口調査から計算した得票	53	15	32	
実際の得票率	53	13	34	

2区

	政党	候補者												投票者数	投票率
	票数	得票率													
2017	自民	山下			希望	津村	共産	垣内			幸福			146075	49.84
	73150	51.1			54591	38.2	13518	9.4			1793	1.3			
2014	自民	山下			民主	津村	共産	井上						147534	51.26
	71436	49.6			56951	39.5	15652	10.9							
2012	自民	山下			民主	津村	共産	井上						160125	55.55
	82061	52.8			57573	37	18789	10.2							
2009	自民	萩原	無所属	熊代	民主	津村			国民新		幸福			198129	68.62
	64349	33.2	19577	10.1	102525	52.9			6026	3.1	1384	0.7			
2005	自民	萩原			民主	津村	共産	尾崎						192631	66.83
	86035	45.7			88277	46.9	13999	7.4							

2区	山下	津村	垣内	支持率
自民	82	15	1	45
希望	5	95	0	5
公明	73	24	3	7
共産	5	10	85	5
立憲	10	75	13	6
維新	20	80	0	1
無党派	36	54	10	31
出口調査から計算した得票	54	36	9	
実際の得票率	51	38	9	

3区

	政党	候補者												投票者数	投票率
	票数	得票率													
2017	無所属	阿部	無所属	平沼	希望	内山	共産	尾崎						156528	55.47
	59488	38.9	55947	36.6	21970	14.4	15424	10.1							
2014	無所属	阿部	次世代	平沼			共産	古松						155330	54.79
	57647	38.4	73852	49.2			18654	12.4							
2012	自民	阿部	日本維新	平沼	民主	西村	共産	古松						168435	58.51
	53986	32.8	73752	44.4	29095	17.7	7904	4.8							
2009	自民	阿部	無所蔵	平沼	民主	西村					幸福			209484	71.2
	52636	25.6	95871	46.6	54595	26.5					2611	1.3			
2005	自民	阿部	自民	平沼	民主	中村	共産	中嶋						207774	69.14
	59303	29.1	99931	49	36356	17.8	8466	4.1							

3区	内山	尾崎	平沼・阿	支持率
自民	4	2	94	46
希望	70	0	30	6
公明	10	2	88	5
共産	2	90	8	3
立憲	27	33	40	5
維新	30	0	70	2
無党派	14	16	70	33
出口調査から計算した得票	13	11	76	
実際の得票率	14	10	76	

4区

	政党	候補者												投票者数	投票率
	票数	得票率													
2017	自民	橋本			希望	柚木	共産	平林						183059	48.11
	93172	51.9			72280	40.3	13907	7.8							
2014	自民	橋本			民主	柚木	共産	垣内						184114	49.91
	91189	50.6			75338	41.8	13629	7.6							
2012	自民	橋本			民主	柚木	共産	須増	日本維新	赤沢				199674	54.4
	91155	46.4			64293	32.7	11125	5.7	29798	15.2					
2009	自民	橋本			民主	柚木					幸福			240713	66.08
	97284	41.3			134319	57					3929	1.7			
2005	自民	橋本			民主	柚木	共産	東						223514	62.39
	96356	44.6			102370	47.4	17094	7.9							

4区	橋本	柚木	平林	支持率
自民	81	17	2	46
希望	5	95	0	7
公明	75	25	0	5
共産	0	20	80	4
立憲	10	77	13	4
維新	7	93	0	1
無党派	29	62	9	33
出口調査から計算した得票	51	41	8	
実際の得票率	52	40	8	

5区

	政党	候補者												投票者数	投票率
	票数	得票率													
2017	自民	加藤			希望	樽井	共産	美見						144213	52.51
	100708	71.3			26901	19	13649	9.7							
2014	自民	加藤					共産	美見						140131	50.9
	105969	79.3					27693	20.7							
2012	自民	加藤	民主	花咲			共産	古松						156265	55.93
	101117	66.7	39989	26.4			10593	7							
2009	自民	加藤	民主	花咲							幸福			201930	70.65
	105172	53.1	89895	45.4							3038	1.5			
2005	自民	村田	民主	花咲			共産	堀						197879	67.88
	114981	59.6	67569	35			10517	5.4							

5区	加藤	樽井	美見	支持率
自民	94	5	2	50
希望	20	80	0	6
公明	82	10	8	4
共産	10	9	81	2
立憲	26	44	30	5
維新	55	38	7	2
無党派	59	26	15	31
出口調査から計算した得票	72	19	9	
実際の得票率	71	19	10	

出口調査を基にした
2017衆院選における
各政党支持者の投票行動